

第1 決算審査特別委員会（第3日目）

H21. 9.17(木) 10:00～

第二委員会室

開 会 10:20

委員長 委員動静報告～全員出席。これより本日の会議を開く。本日、監査結果報告書を委員に配付した。このことにより、慎重な審議を行うため、第1 決算審査特別委員会の日程を変更する。変更内容について事務局より説明する。

中嶋局長 日程変更案だが、本日は書類審査まで行い、9月24日、午前8時30分から全員協議会を開催し、その後会派の協議を経て、午前11時から第1 決算審査特別委員会を開き、市長総括質疑、討論及び採決を行うこととしたい。日程の変更について確認いただきたい。

委員長 このことについて何かあるか。（なし）日程を変更することに決定する。

教育費

委員長 教育費について説明を求める。教育部長。

館 部 長 （教育費について説明する。）

委員長 説明が終わった。質疑の前に各委員に委員会運営について協力願いたい。財団法人滝川市体育協会における不適切な事務処理に係る監査結果報告書が配付されているが、この監査結果報告書については、9月24日に開催を予定している全員協議会において、宮崎監査委員から監査結果報告の説明、市長及び教育長から監査結果報告を受けたことに伴う市及び市教委の対応などについて報告をいただく予定になっている。質疑も全員協議会で行うこととなるので、決算審査特別委員会の質疑に当たっては、監査結果報告書はあくまでも参考資料であり、報告書の内容に対する質疑は控えていただき、決算審査特別委員会のルールに従って、決算に限り質疑を行うよう協力を求める。若干休憩する。

休 憩 10:36

再 開 10:45

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。これより質疑に入る。質疑はあるか。

- 渡 辺
- ① 小学校費の教材、教具等に要した経費で、教育費の中で最も大事な部分である。児童数の減で、機械的に教材、教具等に要した経費が減らされている。今後も学力テスト等が続けられると思う。そういう意味で教材、教具等に要した経費との因果関係が大きいと思う。少しずつでもふやす必要があると思うがいかがか。
 - ② P231、その他小学校教育の実施及び管理に要した経費の中のその他諸費が2,500万円程度あるが、この経費で洋式トイレをふやすことになっていたと思う。どのようになったのか伺う。
 - ③ 中学校費の教材、教具等に要した経費が以前は650万円程度だったが、600万円を切った。中学校の生徒数が減っていることが要因だろうと思う。特に学習指導要領の改定で教科書が今後新しくなる。そういう移行期でこの経費がかかるはずであり、1,000万円でも足りないと思う。今後ふやす必要があると思うがいかがか。
 - ④ 社会教育費の芸術文化振興に要した経費で、滝川市文化連盟は市内の文化を一手に引き受けている1,000人規模の大きな団体である。文化を担っている団体の補助金が20万円を切っている状況である。これについての見解を伺う。
 - ⑤ 体育振興費の温水プールや体育施設について、これらをほとんど体育協会に委託している。補助金や負担金の総額は約8,900万円になる。体育協会の裏金づ

くりとの関係で、当然平成 20 年度にも行われていた。コミュニティセンターや公民館の委託料と比較しても、体育協会に支出する総額は多く、大変な格差だと思う。このことについて見解を求める。

委員長

若干休憩する。

休 憩 10:54

再 開 10:55

委員長

休憩前に引き続き会議を再開する。渡辺委員の最後の質疑に関しては取り下げとすることにする。

杉原副主幹

①③ 教材、教具等について、小中学校ともに算定根拠に当たっては学級数や児童生徒数を加味して予算化している。児童生徒数が減少していくことで、金額も減っている。各学校最低限の予算というものもあるので、この辺の予算の基礎となる部分についても見直す時期だと思う。また、学習指導要領の完全実施に伴って、必要となる教材等が出てくる。学校現場の意見を聞きながら、予算化していきたいと考えている。

② その他諸費について、洋式トイレだが、小学校低学年の和式トイレに対する嫌悪感を解消するために、計画的に洋式トイレにかえてきたところである。現在は終了し、文科省で進めている節水型トイレなどにかえることができないか検討中である。

南 課 長

④ 滝川市文化連盟の補助金について、団体補助金として 19 万 2,000 円を支出している。滝川市文化連盟は 1,000 人以上の会員数であり、滝川市の文化について非常に貢献してもらっている。文化祭を実施してもらっているが、その文化祭については、会場費補助ということで補助金を出している。音楽祭についても会場費補助をしている。

委員長

他に質疑はあるか。

関 藤

① P227、心の教育推進に要した経費、1,468 万 3,652 円で教育相談員報酬、スクールカウンセラー報酬、図書購入費等を合わせると約 58%を占めるが、その他諸費と残りの 40 数%において、どのような事業を行ったのか内容を伺う。

② 教育相談、スクールカウンセラーを受けた人数は事務概要の P175 で確認できるが、どのような調査で人数把握をしたのか伺う。また、学校別、学年別の人数について伺う。

③ P229、情報処理教育の振興に要した経費が平成 19 年度よりも大幅増になっている理由について伺う。

④ P239、学校給食関係で給食費の未納状況について伺う。

⑤ P241、青少年対策に要した経費で、関係団体の活動内容及び負担金の内訳について伺う。

杉原副主幹

③ 平成 19 年度に小中学校のパソコンを更新して、その時期が 8 月であり、年度途中からリース使用料がかかった。20 年度はそのリース使用料が 12 カ月分になり、その分がふえた理由である。

鳩山主査

④ 給食費の未納状況について、学校と協力して減らすよう努力しているところだが、平成 20 年度は未納額 330 万 7,162 円、未納率は 2.06%と 19 年度が 1.92%であったことから、若干上がっている状況である。この結果を受けて市教委としても各小中学校と連携を取り、未納対策マニュアルを作成し、未納率の改善に努めている。

春田指導参事

① 心の教育推進事業に要した経費の内訳だが、その他諸費として、江部乙中学

校で行った少人数学級にかかわる教諭の報酬、いじめプロジェクト事業ということ
でいじめ根絶プロジェクトに要した諸費等がある。

② 教育相談員及びスクールカウンセラーについて、事務概要の教育相談は、学
校に配置している相談員及びスクールカウンセラーの相談件数ではなく、市教委
にある教育相談電話、いじめ相談電話にかかってきた電話、メール及び直接市教
委に相談に来た件数ということである。

吉川室長

② 教育相談員及びスクールカウンセラーの相談件数だが、スクールカウンセ
ラーについては、児童等は 78 件、保護者は 10 件、教職員は 103 件で合わせて 191
件の相談があった。教育相談員については、子供たちを相談室で待っている状態
ではなく、積極的に教室に出向いて活動を行っているので、市教委としては相談
件数を把握していない。どのような活動をしたかという日誌の報告をいただいで
いる状況である。

石黒主査

⑤ 青少年健全育成事業奨励補助金の関係だが、19 万 7,000 円の減を生じている。
この事業概要について、青少年の健全育成を図る団体に対する事業補助であり、
平成 20 年度は 10 団体から申請をいただき、支出総額が 64 万円となっている。団
体について、滝川市青少年育成会連絡協議会があり、この団体に対し 19 万 9,000
円の補助をしているところである。

関 藤

教育相談員及びスクールカウンセラーが配置され活動されているようだが、こと
し 3 月に事故が起きた。教育相談員及びスクールカウンセラーを単に配置する
ということだけでなく、そのような人材に対する育成事業というものを行う考えは
ないのか伺う。

春田指導参事

今年度、各学校の生徒指導担当者会議を年 10 回行っている。これまではこの会議
は生徒指導担当者のみで行っていたが、各学校の相談体制の充実ということで、
各学校に配置している教育相談員及びスクールカウンセラーを含めて、また適応
指導教室指導員も入れて、心のサポート会議を行っている。生徒指導担当者との
サポート会議にかかわるメンバー合同の会議を年 2 回設けて、既に 1 度終了し、
9 月 28 日に 2 回目を行う予定である。

委員長

他に質疑はあるか。

副委員長

① 事務概要でいじめの相談について 5 件と記載があったが、その中で現在の実
態はどのようになっているのか伺う。

② 長期欠席児童対策についてその内容を伺う。

③ 教材、教具等の 1 人当たりの金額について、ここ数年の推移を伺う。

④ 教材費の保護者負担について調査するべきだと思うが、調査していればその
実態について伺う。調査していなければ調査することについて考えを伺う。

⑤ 学校修繕について、節水型トイレに切りかえを検討中であるようだが、学校
によっては多目的トイレ、障がい者専用トイレなどを考える必要があると思うが、
トイレ改修が残っている学校、また今後の見通しについて伺う。

⑥ インターネットにおいて、裏サイトや出会い系サイトなどの調査を行い指導
するということだが、調査や指導などの状況について伺う。

⑦ 美術自然史館、こども科学館について、年間パスポートの利用状況及び利用
促進のための考えについて伺う。

⑧ 体育協会の裏金問題について、平成 20 年 4 月に当該担当者から受けて、20 年
12 月に教育長に対し報告されたということだが、この期間があいたことに関し、
その経緯について伺う。事務引き継ぎについて、一般的にどのような形で行われ

ているのか、また 20 年度についてはどうだったのか伺う。

吉川室長

① いじめの相談件数について、事務概要 P175 に記載している 5 件は、市教委で設置している相談電話、メールなどに寄せられた件数である。これらの相談が入った際には、内容によっては学校に対し情報提供してその対処を求めたもの、または話を伺って推移を見守るものもある。いじめの対応について、昨年 12 月にいじめの実態調査を行った。その中から今もいじめを受けているとの回答結果を踏まえて、学年や学級単位での実態把握、気になる子供の教育相談、保護者からの情報提供などの対応をしている。また、指導についても道徳の時間などで防止という観点から心を育てる指導を行っている。

② 不登校児童生徒の対策だが、事務概要 P176 に掲載しているが、適応指導教室に配置している相談員が日常の教育指導、教育相談を行っているが、不登校になった原因や学校復帰の障害などを児童生徒あるいは保護者と面談をしたり、その学校に出向いて、学校の指導者との連携を図ったりして、不登校の児童生徒が復帰できるような対策を行っている。

春田指導参事

⑥ 携帯、パソコンの裏サイト等について、市教委としては情報モラルにかかわる教職員研修を実施している。各学校では外部から講師を招き、保護者も含め対応している。道教委では民間との契約の中で情報パトロールを行い、そこで得られた情報を教育局を通じて市教委に提供しており、市教委としては、その情報を速やかに各学校へ提供している。各学校では配置されたパソコンにフィルターがかけられており、1 台のみフィルターを解除することができるため、それによりインターネットの情報についてチェックをするようなことになっている。

鳩山主査

③④ 小中学校の教材費の 1 人当たりの金額の推移だが、小中学校合わせて平成 18 年度は 1 人当たり 4,702 円、19 年度は 4,899 円、20 年度は 4,534 円となっている。教材費の保護者負担だが、20 年度に学校調査を行った。小学校の平均で 5,155 円、中学校の平均で 6,543 円となっている。

杉原副主幹

⑤ 小中学校のトイレ改修の関係だが、特別支援学級に在籍する子供の状況に合わせて随時整備をしてきた。今後においては、耐震化の工事にあわせて障がい者用のトイレ整備も行いたいと考えている。

森副館長

⑦ 年間パスポートについて、平成 20 年度に導入したが、一般は 150 枚を予定していたが 378 枚となった。高校生は 20 枚に対して 24 枚、中学生は 25 枚に対して 20 枚、小学生は 20 枚に対して 65 枚の販売実績があった。合計で 215 枚予定していたところ 487 枚販売したところである。利用状況だが、1 回リピートした方が 89 人で約 39%、2 回リピートした方が 56 人で約 24.6%、3～9 回リピートした方が 51 人で約 22.4%、10 回以上リピートされた方もいた。知名度向上とリピーター増が図られたと考えている。利用増に向けて、魅力的な企画展などを行い、多くの人たちに来ていただきたいと考えている。また、普及事業なども行い PR に努めていきたいと考えている。

春田指導参事

⑥ 裏サイトの関係について、道教委からの情報提供の中で、滝川市内の小中学校は 1 件もない。

館 部 長

⑧ 体育協会の不適切な事務処理について、事務局長と前常務理事との事務引き継ぎの話なので、6 月の中間報告でさせていただいた部分と現在ほぼ調査を終了し、監査からの結果報告で改善を体育協会に依頼し、早急にまとめている最中である。事務引き継ぎの際どのように捻出したのか、また金額についても知らされていなかった。その時点では不適切な事務処理によって捻出されたという認識は

なかったということである。12月上旬に不適切な事務処理によって生じたものであると知ってから話については、報告するまでの間が遅過ぎたと考えている。事務引き継ぎの際は徹底して行うよう今後も指導していく。

副委員長

- ① 不登校の問題について、今年度改善されたものがどのくらいあったのか伺う。
- ② 心の教育推進について、内容を今後充実していくのか伺う。
- ③ 教材、教具等について、平成18年度から20年度まで示されたが、その前から見ると微減していると思う。そのことについてどのように考えているのか伺う。
- ④ 教材費の保護者負担がふえてきているのではないかと思います。このことについてどのように考えているのか伺う。

吉川室長

- ① 不登校の状況だが、不登校者の数は事務概要に掲載しているが、その中で開設している通級適応指導教室に入級している児童生徒数は、平成20年度は7名で、そのうち不定期ながら学校の教室登校ができた者が1名、学校の相談室登校が5名ということになっている。不登校者全体のうち、適応指導教室に通っている者の数字であるので、そのほかの児童生徒に対しては、本人、保護者及び学校間で情報共有しながら、まずは自宅から外へ出るための取り組みに今年度も努めているところである。

春田指導参事

- ② 心の教育推進の充実について、平成18年度から3年間、心の教育推進プランということで取り組んできた。その中で成果を上げたり、または課題を残したりしながら21年度を迎えた。考え方としては、同じことを継続していくということではなく、少しずつ方向を変えながら、例えば心の教育推進プランで扱っていた道教委の指定事業である道徳教育の推進事業は、市教委単独で各学校に取り組んでいただくこととした。あるいは、これまで教職員研修で中心に行ってきたことを児童生徒が主体となって取り組む活動に方向転換を図った。地域、保護者とのかわりについては、学校支援地域本部等の事業を通しながら充実させていくということで行っている。

中川課長

- ③④ 教材、教具等の保護者負担について、残念ながら平成20年度の数字ということで、単年度のみの数字であり、実態を完全に把握しているとは限らない。算定方法の見直しや学習指導要領の改訂により新たな教材の需要が生じることも考えられることから、このような課題を解決する中で教材、教具等の充実を図っていきたいと考えている。

委員長

田村

- 他に質疑はあるか。
- ① 体育協会の請求書または領収書の保管年限について伺う。
 - ② 図書館費について、田鎖文庫があったと思うが、その後寄附によりふえているのか。また、在庫本が13万冊程度と聞いているが、毎年古い本の破棄や処分をどのように行っているのか。古本屋に滝川市の貸出カードが入ったままの本があった。貸出本の未回収の関係も含めて伺う。

中寺副館長

- ② 田鎖文庫については、資料がないので答弁できないが、寄附された本は毎年ふえている状況である。本の廃棄について、価値喪失や汚損などにより除籍をして、破棄をしている状況である。古本もつけ祭などで市民に還元もしている。図書コーナーにも本を回し、再利用を行っている。極力多くの方に使っていただくよう、除籍等も十分にチェックして行っている。貸出本の未回収については、督促状を2週間ごとに出して対応しているが、3年経過後処理をすることになっている。

河野部次長

- ② 田鎖文庫について、勤労青少年ホームの中で使用させていただいている。勤

労青少年ホーム協議会の中で図書館部というクラブをつくってもらい、自主的に運営管理をしていただいている。新しい本の供給がないので、寄附をいただいた本がだんだん古くなっている状況である。

中寺副館長 ② 除籍をするときに必ず本のカード等を外し、除籍の印を押すことになっている。

坪田室長 ① 体育協会における請求書及び領収書について、滝川市に準拠し5年間の保存ということになっている。

中寺副館長 ② 平成20年度は466冊を廃棄している。
田 村 本の貸し出しを行って、返却されないものについてはどのような処理をしているのか伺う。

中寺副館長 返却されない本については、一定期間経過後、督促をしている。督促ははがきで出す場合と電話による場合がある。本人がなくなった場合は、弁償してもらうことにしている。回収不可能な本については、3年経過後に除籍ということで処理している。

委員長 他に質疑はあるか。(なし) 質疑の留保はなしと確認してよい。(よし) 以上で教育費の質疑を終結する。若干早いけど昼食休憩とする。再開は午後1時とする。

休 憩 11:43

再 開 13:00

副委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。山木委員長が所用のため早退されたので、これより委員長を交代する。

歳入

副委員長 歳入の説明を求める。総務部長。

高橋部長 (歳入を説明する。)

副委員長 説明が終わった。これより質疑に入る。質疑はあるか。

渡 辺 ① P45、市税について、不納欠損金、収入未済金だが、未済金の不納欠損になる年数を伺う。

② 不納欠損の最終処理の判断状況を伺う。

③ 固定資産税について、滞納から不納欠損となる関係で、市民税や国保税と違い、滞納しても財産が残っているのではないかと思います。不納欠損となる意味について伺う。

④ P47、軽自動車税について、不納欠損となった台数を伺う。また、軽自動車税を納めない場合、どのような処理をしているのか伺う。

⑤ P59、地方交付税について、国の政策などでふえたり、減ったりすることがある。平成11年に84億円であったのが、現在は19億円減らされている。極めて政治性の高いものだと思う。国に対してどのような要望活動を行っているのか伺う。

堀之内主査 ⑤ 地方交付税は年々減っている。市からの要望として、毎年地方交付税の算定後に国から道を通じて、地方交付税に対する要望、財政需要額について疑問点や要望がないか調査がある。そこで意見反映している。要望したものについては、国のほうで精査をし、それに対して回答される。特別交付税の関係であれば、特殊財政需要額があり、市長が上京した際に関係機関等への働きかけを十分に行っている。

小峯副主幹 ① 未収金の不納欠損となる年数だが、地方税法の中で徴収権の消滅時効が定められており、通常は5年で、滞納処分の実行停止を行った場合は、即時もしくは3年ということになっている。

② 不納欠損の判断だが、地方税法の中で消滅時効が完成すると時効の援用を要せず、その利益を放棄することができないとなっており、絶対的に徴収権が消滅するということが定められている。

③ 固定資産税について、ほとんど土地、建物に抵当権が設定されている。それによって、差し押さえをして処分しても換価価値がないものがほとんどである。一部差し押さえ処分を行っているものもある。

④ 軽自動車税の不納欠損の件数だが、昨年、電算システムの入れかえの関係で、これまで件数としてカウントしていたが、期別ということを出している。軽自動車税は納期が1期であるので、台数とイコールと考えてもらってもよいが、107件であった。差し押さえの関係だが、車検があり2年に1回納税証明書が必要であるということで、ほとんどが納めてもらっている。5年を経過するものについては、物件そのものがない場合や車が壊れて放置されていたり、市外に転出し納税義務者の消息がわからない場合もある。

高橋部長

⑤ 滝川市としての個別の要望は、担当から説明したとおりだが、国対地方という大きなくくりの中で、国の地方交付税の総額を確保しないことには、個別で要望しても難しい面もある。都市財源の充実強化を訴えることを全国市長会、地方6団体などで毎年総決起大会を開いたり、中央行動を行ったりして総額の確保を市長が先頭に立って行っている。

渡 辺

固定資産税について、抵当権がついていても滞納状況を通知し処理していかなければならないと思う。また、訴訟や公表を考慮する必要があると思う。家賃の滞納については公表されている。市民の一部では税を納めなくても年数がたてばなくなるという話もしているようだ。どこまできちんと処分を行っているのか伺う。固定資産税の差し押さえに関して、抵当権がついて換価価値がないものについては、無益な差し押さえということになり、難しい問題である。不公平感を助長するようなことはいけないと考えており、滞納処分は固定資産を持っていたとしても、債権の差し押さえ、預貯金や給与の差し押さえを行っている状況である。債権差し押さえに関しては、平成16年は年間90件程度だったが、20年は624件ということで、かなり件数はふえている。そのように固定資産などの財産に固執せず、様々な債権に対して滞納処分を行って、不公平感を抱かれることがないよう真摯に取り組んでいる。

小峯副主幹

委員長

他に質疑はあるか。

田 村

スマイルビルに関して、固定資産税の滞納額、免除や減額、市の持ち分の状況について伺う。

加藤課長

スマイルビルの税に対して減免は行っていない。市の持ち分については非課税ということになっている。滞納額は公表していないので答弁は控える。

田 村

競売物件として、競売が成立後、市に入ってくる予定額はどのくらいか伺う。

小峯副主幹

競売によって市税に充当されるのは、他の民間などの債権との関係で、優先順位が決まり、民間の債権については抵当権を設定した年月日、市税については法定納期限。その優劣によって判断されるので、現段階で物件が売却されることにより市税にどれだけ入ってくるかはわからない。

委員長

他に質疑はあるか。(なし) 質疑の留保はなしと確認してよいか。(よし) 以上で歳入の質疑を終結する。本日まで3日間質疑を行ってきたが、総括質疑への留保はなしと確認してよいか。(よし) 以上ですべての質疑を終了する。これより休憩に入るが、休憩中に書類審査を行っていただく。再開は午後1時50分とする。

休 憩 13:34

再 開 13:50

委 員 長

休憩前に引き続き会議を再開する。休憩中に書類審査をしていただいたが、これに対する質疑はあるか。(なし) 書類審査の質疑を終結する。以上で本日の日程は全部終了した。次回は9月24日木曜日、午前11時から会議を開く。本日はこれにて散会する。

散 会 13:51